

## 国際セミナー

# ことばの発達と多様性を支える インクルーシブな教育へ —文化・社会・認知・発達にまたがる視点から—

障害のある子どもや、日本語以外を母語とする子どもたちの中には、ことばの発達に困難を抱え、日々の生活や学びの場で思うように気持ちを伝えられずにいることが少なくありません。こうした子どもたちが安心して学べるインクルーシブな環境づくりが求められています。本セミナーでは、文化や発達の多様性に目を向けながら、海外の専門家とともに、教育・医療・研究・政策をつなぐ新しい支援のかたちを考えていきます。子どもに関わるすべての方のご参加をお待ちしています。

2025年9月20日(土) 10:30~16:00 開場:10:00  
広島コンベンションホール(広島市東区二葉の里3丁目5-4) & オンライン

参加無料

手話通訳・要約筆記あり

日・英同時通訳

要申込

### 基調講演 Keynote Speaker



言語障害をめぐる遺伝的見解と  
個別支援への示唆

アンジェラ・モーガン  
メルボルン大学(オーストラリア)



拡大・代替コミュニケーション(AAC)を  
通じたインクルーシブな言語支援  
～文化的・言語的多様性をふまえて～

ウェンディ・クワ  
サンノゼ州立大学(アメリカ)

### オンライン登壇



実践共同体における  
変容的エージェンシー  
～分野横断的実践における拡張的学習～

ユーリア・エンゲストローム  
ヘルシンキ大学(フィンランド)

### 講演 Speaker



日本の特別支援教育における  
ことばの教室の支援の実際  
～これからの展望する～

滑川 典宏  
国立特別支援教育総合研究所(日本)



インクルーシブな言語支援の  
ためのシステム統合  
～政策・実践・研究の接点～

川合 紀宗  
広島大学(日本)

### パネルディスカッション

ことばの多様性とインクルーシブな教育の未来を語る



対面参加・オンライン参加(Zoom)

←申し込みはこちらから

※申込締切:9月18日(木)正午

<https://forms.office.com/r/MU0bLuS>

定員:80名(会場)

お問合せ:d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp

(広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 マネジメント部門)



## プログラム

10:00-10:30	受付・開場
10:30-10:40	開会挨拶 広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構長 国立特別支援教育総合研究所 理事長
10:40-10:45	趣旨説明 川合 紀宗
10:45-11:25	基調講演 1 アンジェラ・モーガン
11:25-12:05	基調講演 2 ウェンディ・クア
12:05-13:15	昼食休憩
13:15-13:45	講演 1 滑川 典宏
13:45-14:15	講演 2 川合 紀宗
14:15-14:30	休憩
14:30-15:10	基調講演 3 オンライン登壇 ユーリア・エンゲストローム
15:15-15:50	パネルディスカッション 「ことばの多様性とインクルーシブな教育の未来を語る」
15:50-16:00	閉会挨拶・今後の行事のお知らせ 広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 マネジメント部門長

## 登壇者紹介



### アンジェラ・モーガン

メルボルン大学 (オーストラリア)  
聴覚学・言語病理学科 教授

#### 言語障害をめぐる遺伝的見解と個別支援への示唆

モーガン教授は、長年にわたり臨床研究に従事してきた言語病理学者・言語科学者である。これまで、幼少期における発話と言語機能障害の予測因子、予後因子、原因の解明に取り組んできた。近年は、発達性の発話・言語機能障害における遺伝的基盤を明らかにすることを主な研究テーマとしている。

Keynote Speaker

1



### ウェンディ・クア

サンノゼ州立大学 (アメリカ)  
コミュニケーション障害科学学科 教授

#### 拡大・代替コミュニケーション(AAC)を通じたインクルーシブな言語支援 ～文化的・言語的多様性をふまえて～

クア教授は、コミュニケーションに多様で高度なニーズを抱える人々や、運動性発話障害のある人々に対する拡大・代替コミュニケーション(AAC)を、教育と研究の主な関心分野としている。臨床研究者として、こうした人々とその家族が、言語や文化の違いを超えて活用できる、エビデンスに基づく実践ガイドラインの開発に取り組んでいる。

Keynote Speaker

2



### ユーリア・エンゲストローム

ヘルシンキ大学 (フィンランド)  
活動・発達・学習研究センター センター長・教授

#### 実践共同体における変容的エージェンシー ～分野横断的実践における拡張的学習～

エンゲストローム教授は、文化歴史的活動理論を発展・応用し、職場、教育、組織、社会運動における変革と学習の過程を研究している。教授は、拡張的学習の理論や、チェンジ・ラボラトリー法のような開発的業務研究と呼ばれる方法論を創始したことで広く知られており、この方法論は教育、医療、情報技術、さまざまな産業などの分野で国際的に活用されている。

Keynote Speaker

3



### 滑川 典宏

国立特別支援教育総合研究所 (日本)  
情報・支援部 総括研究員

#### 日本の特別支援教育におけることばの教室の支援の実際 ～これからを展望する～

滑川氏は、情報・支援部において学校教育支援・連携を担当し、特別支援教育に係る研究、各地の先生方への研修及び情報普及等を行っている。また、言語障害教育研究班に所属し、各地のことばの教室担当の先生方とのネットワークを構築し、言語障害のある子どもの教育の充実を目指している。

Speaker

1



### 川合 紀宗

広島大学 (日本)  
ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 教授

#### インクルーシブな言語支援のためのシステム統合 ～政策・実践・研究の接点～

川合教授は、特別支援教育、インクルーシブ教育、言語病理学を専門としている。現在の研究では、特に吃音のある子どもを対象に、AIやVRを活用した言語障害児への支援方略の開発に取り組むとともに、アジア地域におけるインクルーシブ教育システム推進のための効果的な政策や実践の検討を行っている。

Speaker

2